

令和 2 年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議

事業計画（案）

I 保存活用会議運営に係る総合調整事業【予算額 1,751 千円】

保存活用会議の会議を開催し、「資産等保存管理事業」や「来訪者対策事業」の取組方針、決算・予算等を審議・決定する。

また、地元 4 自治体の世界遺産、文化財、都市計画等の関係部署の職員からなる「資産専門部会」、「緩衝地帯専門部会」、「来訪者対策専門部会」の 3 つの専門部会を開催し、今後の百舌鳥・古市古墳群の保存管理のあり方等について協議を行う。

II 資産等保存管理事業の主な取組【予算額 17,225 千円】

世界遺産一覧表記載推薦書の付属資料としてユネスコに提出した「包括的保存管理計画」や、第 43 回世界遺産委員会において決議された「追加的勧告」で求められた百舌鳥・古市古墳群の保存管理を行う。

1 国際専門家会合の開催

第 43 回世界遺産委員会において決議された「追加的勧告」に、資産の整備にかかる指摘があることを受け、国内外のイコモス専門家等を招いた国際専門家会合を実施し、世界遺産としての真実性の観点を考慮した新たな整備方針の策定に向けた検討を行う。

2 H I A（遺産影響評価）*に関する事業の実施

「追加的勧告」で示された H I A の具体的な仕組みの整備等に関して必要となる、ユネスコやイコモスとの対話にかかる文書作成・翻訳等を行う。

*) H I A（遺産影響評価）：世界遺産として認められた価値や資産の特性が、開発計画等によって受ける影響を評価すること。

3 モニタリングの実施

資産や緩衝地帯等の保存状況、来訪者への対応等についてモニタリング（経過観察）により評価を行う。（古墳や周辺環境の写真による定点観測、来訪者数の把握等）

III 来訪者対策事業の主な取組【予算額 30,240 千円】

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を、国内外に向けて発信する。

1 世界遺産登録一周年記念事業の開催

世界遺産登録一周年記念事業として、百舌鳥・古市古墳群の認知度向上を目的としたイベントや首都圏・全国に向けた情報発信を実施する。

2 多言語リーフレット、ガイドマップの作成

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値や魅力を伝える多言語リーフレットや、古墳群の周辺一帯の魅力を感じられるガイドマップ等を作成する。

3 多言語ホームページの運営

国内外に百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を発信するため、現在のホームページの多言語対応（日中英韓）を充実させる。

4 情報発信方策に関する検討分析の実施

百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を将来にわたり発信し、継続的に多くの方々に訪れていただけるよう、効果的な情報発信方策の実施に向けた調査・分析を実施する。

5 民間等連携事業・世界遺産学習会の開催

民間企業、大学等と連携・協力し、様々な手法や PR ツールを活用した百舌鳥・古市古墳群の情報発信を実施する。また、府内市町村や学校と連携し、広く府民の方々に、百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくための学習会を開催する。